

# Weekly コラム

令和元年 9 月 10 日

〒541-0055 大阪市中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## ノープラ

カナダのトルドー首相は 10 日、レジ袋やストローなどの使い捨てプラスチックを早ければ 2021 年にも禁止すると発表しました。EU も 2030 年までに全てのプラスチック包装をリサイクルし、使い捨てプラスチックを削減すると発表していますし、コカコーラや、ユニリーバなどの名だたるグローバル企業が、パッケージリサイクル 100% を宣言するなど、世界はプラスチックフリーへと転換の時を迎えているようです。

では、何故このプラスチックがここまで世界的な問題になっているのでしょうか。それは、プラスチックの性質と、プラスチックが石油から作られることに起因します。プラスチックは軽いので、遠くまで運ばれ、かつ自然分解されずに半永久的に残ります。そのため使用済プラスチックは、最終的には海に流れついて、海洋汚染の原因になってしまうのです。しかも最悪なのは海水に低濃度では有りますが、汚染物質が含まれており、この汚染物質が油と親和性があるため、プラスチックが海を漂う間に汚染物質を吸収してしまい、確実に環境にダメージを与えているのです。世界は一つの海で繋がっているため、各国の問題だけではなく、世界的な問題になっているのです。

ただ、このプラスチックを削減するのは容易ではありません。毎日の生活の中で、レジ袋やビニール傘、ストロー、ペットボトルなどあらゆるものがプラスチックで出来ております。今の生活を維持する上でプラスチックは欠かせない存在になってしまっているのです。

しかし、今のままですと、このプラスチック問題を放置しておく、回り回って我々の健康を脅かす存在になることは間違いありません。日本は、一人当たりのプラスチックゴミの排出量が世界で第 2 位となっており、世界で最も脱プラを進めていかないと出来ない国の一つです。個人レベル、企業レベル、国レベルで物事を真剣に考えることができれば、物事を変えることは簡単です。今月末に G20 がありますが、世界各国がこの問題を自国の事として考え、地球を守ってくという意識がこれから人類には必要になってくるのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、[skc-soudan@skc.ne.jp](mailto:skc-soudan@skc.ne.jp) まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。